

古河花火大会と渡良瀬遊水地



(表紙写真提供：古河市)

今年で開催13回目を数える古河花火大会は、約2万発の花火が打ち上げられる関東最大級の花火大会として知られ、毎年20万人以上の観光客で賑わいます。

大会最大の目玉は、夜空を覆い尽くすほどの巨大な3尺玉の打ち上げです。重さ約300kg、直径約90cmの3尺玉は、東京スカイツリー(634m)とほぼ同じ、高度600m地点で直径約650mという超特大な美しい花々を咲かせ、古河の夜空を彩ります。

そのほか、音楽と連動したスターメインやワイドスターメインなどが次々と打ち上げられ、その美しく輝きに満ちた夜空は、素晴らしい夏の思い出の1コマとして多くの人々の胸に深く刻まれることでしょう。

花火大会の会場は、2012年7月、ラムサール条約に登録された日本最大の遊水地「渡良瀬遊水地」です。この遊水地は、利根川水系最大の支川である渡良瀬川へ流れ込む2つの小さな川との合流地点に位置し、面積33km²、総貯水容量は2億m³を誇ります。

渡良瀬遊水地の歴史は、渡良瀬川上流に位置する足尾銅山の鉱毒が渡良瀬川の流れに乗って沿岸部にまで広がり、社会問題へと発展したことに始まります。その後、鉱毒防止対策と利根川・渡良瀬川の治水を目的に、この地に調整池が整備されました。現在、池や河川敷にはヨシが生い茂り、本州最大級の貴重な湿地帯として保護されています。

この夏、ご家族・ご友人とともに、渡良瀬遊水地の散策と、夜空を彩る壮麗な花火を堪能してみてくださいはいかがでしょうか。



- ◆場 所：茨城県古河市西町10-1
古河ゴルフリンクス(渡良瀬川河川敷)
- ◆アクセス：
【車】東北自動車道「久喜IC」より約30分
圏央道「境古河IC」より約35分
【電車】JR宇都宮線「古河駅」西口より徒歩約20分
東武日光線「新古河駅」東口より徒歩約5分
- ◆第13回古河花火大会
2018年8月4日(土)19:20～20:30
無料臨時駐車場(7箇所、合計2,000台)あり